

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	株式会社エスケイサービス
取組	(1)女性が働きやすい環境整備に向けた簡易な改修やリース等による施設等の確保
構成員数	25 人 (うち、女性 23 人) (令和 4 年 2 月 28 日現在)

1 事業実施方針

①弊社の事業概要
弊社は 2006 年 2 月に山口県下関市にて女性 5 名で農作業の受託業務からスタートしました。現在は西日本最大手の生産農場様からの受託業務を主にしています。作業内容としましては、接木や刺し芽、植込みなどの育苗作業を中心に生産農場様の生産計画通りの安定供給をお支えできるようご協力させていただいております。お陰様で女性ならではの繊細かつ丁寧、さらにスピーディーな仕事内容が認められ、厚い信頼を頂き受託業務量も年々増加の一途をたどり、それに合わせて弊社の従業員も増えております。組織としましては 2016 年 7 月に法人化をして、株式会社エスケイサービスを設立しました。現在は代表取締役 (女性) 1 名、専務取締役 (男性) 1 名と、従業員が男性 1 名、女性 22 名 (内 2 名が正社員) の合計 25 名が在籍しております (2022 年 2 月 28 日現在)
2019 年 7 月に、さらなる女性の社会進出や活躍出来るステージを構築したいとの思いから女性を中心とした持続可能な農業の実現を目指し、農業部を立ち上げました。山口県山陽小野田市の植生干拓地内の休耕地 (約 4,000 m²) を借り受け、ビニールハウス 7 棟で山陽小野田市特産のアスパラガス、ビニールハウス 3 棟でイモ苗の栽培をスタートしました。ただ、すぐに栽培をスタートできたわけではありません。
10 数年以上も手付かずの圃場だったので、草は背丈以上に伸び、産業廃棄物は散乱している大変荒れた圃場でした。代表取締役 (女性) と社員 2 名 (女性) の女性 3 人で少しずつゴミを集め、草刈り機で草を刈り、約半年間をかけて栽培がスタートできるまで辿り着きました。栽培のノウハウは無かったので、JA や農林水産事務所、山陽小野田市などの協力で色々と教わったり、代表取締役と社員 2 名の女性 3 名は参考になりそうな本を読んだり、研修に行き勉強したりしてノウハウを身に付けました。
その間、「女なんかは何ができるか」「どうせすぐ諦めるだろ」「うまく行くわけないだろ」・・・など女性というだけで見下されるような悔しい言葉もありましたし、某農業資材関連の会社からは実績がないので取引できないと言われたこともございました。
でもそんな悔しい言葉を言ってきた人たちを絶対に見返してやるとの強い信念のもと、2020 年から栽培をスタートすることが出来ました。
現在は干拓地内の休耕地を購入及び利用権設定での借り受けを増やし、約 15,000 m²まで農場が大きくなりました。ビニールハウスも 25 棟まで増やし、22 棟をアスパラガスの栽培用ハウスとして活用し、山陽小野田市特産のアスパラガスの知名度アップや地域経済発展に少しでも貢献できるよう日々努力をしております。なお山口県山陽小野田市から認定農業者に認定され、山陽小野田市農業委員会に農地所有適格法人の届け出も完了済みでございます。
さらに弊社は持続可能な農業の実現のひとつとして、女性社員が中心となって意見を出し合い、

6次産業化への積極的な取組もしております。

味や品質には全く問題ないが出荷基準に合わない規格外のアスパラガスを使い、オリジナルドレッシングの開発に着手し 2021 年 9 月末に完成し翌 10 月から販売を開始いたしました。山口県西部地区を中心とした主要観光土産店やインターネット販売などで発売開始から約 5 か月で 2,000 本以上を売上げ好評を得ております。また山口県山陽小野田市のふるさと納税返礼品にも認定されました。なおこのドレッシングの開発には山口県の農林漁業者向けのステキ女子活躍推進補助金を活用いたしました。

②将来のビジョン、事業の全体方針

山口県山陽小野田市はアスパラガスの産地化を進めており、部会もごございます。弊社でアスパラガスの栽培に取り組み始めて、女性のきめ細やかさはアスパラガスの栽培や調製作業に適していると感じています。今後弊社は更なる農地の規模拡大を積極的に行い、女性を中心に大規模なアスパラガス栽培に取り組むことで、山陽小野田市とアスパラガス産地を盛り上げる事に繋がり女性農業者が活躍できると考えております。さらに 2025 年までには女性社員をリーダーとした JGAP の認証取得を目指し、リスク管理、作業の効率化、生産工程の見える化、人材雇用による社会貢献を組織としての目標としております。

そのためには女性が働きやすい環境を整備し、安全面や衛生面のレベルを向上させ、全体の作業効率を上げて利益率の増加を目指していきます。また女性従業員の意見を経営に取り入れながら役割を発揮してもらい仕事に愛着を持って長く働いてくれるようにしていきます。

③本事業で解決しようとする事項

一方で、農業の現場は、なかなか女性向きとは言えず、農業に就職する女性が作業環境を理由になかなか増えないことも痛感しているところです。女性農業者を増やしたく、アルバイトやパートを募集していますが、なかなか来ていただけません。

上記①でも記述していますが圃場面積が約 15,000 m²あります。広い圃場にもかかわらず、仮設トイレが 1 基（男女共用）しかありません。作業場所からトイレまで距離があると自然とトイレを我慢してしまったり、1 基しかないので順番待ちも発生しているのが現状です。

また休憩場所もないので、出荷調製の作業場にて食事や休憩をしています。温度が高いハウス内での作業が多いので汗をかいて衣服がびしょびしょになったり土で汚れたりしても更衣室もないので車の中や仮設トイレ内で着替える事もあります。現状はとても女性が働きやすい職場環境とは程遠い状況です。創業以来、女性が中心となって会社を支えて来てくれましたし、今後も積極的な女性農業者の雇用を目指す我が社にとって、女性が働きやすい職場の環境整備は急務と考えております。今回の補助事業を活用して圃場内の適切な場所に女性専用仮設式トイレ 2 基と農場事務所内に女性専用の水洗トイレの設置、更衣スペースとロッカー、机、椅子等を兼ね備えた休憩室（プレハブ）を設置して女性が働きやすい環境を整えて問題解決を図りたいと思います。

上記に取り組むことで今後、女性のアルバイト、パート、正社員を増やしていき、女性のチームリーダーや作業環境改善リーダー、GAP 担当等も育成していきたいと考えています。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

①各実施内容の責任者は下記の通りです。

- ・本事業の環境整備（仮設トイレ・休憩所等）→専務取締役
- ・女性農業従事者の募集（求人広告）→代表取締役
- ・6次産業化の担当→女性社員
- ・女性農業従事者活躍の情報発信（SNS、ホームページ）→代表取締役

いずれも女性従業員の声を反映させ、各責任者が中心となって事業を実施していきます。

②定期的に打ち合わせを行い、事業の進め方を協議します。

③山陽小野田市や農林水産事務所と相談しながら、女性農業者が活躍でき、能力が最大限に発揮できる会社となれるように進めていきます。

（注）応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の（1）の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者（女性1名以上を含む）の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

（1）女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
■過去の取組		
(1)女性農業者（パート）の新規雇用 （求人情報誌掲載・農業バイト専用サイト「アグポン」活用）	2020年 4名 2021年 6名	
(2)農業実習生受入れ	2021年 男性1名	
■今後の取組		
(1)女性農業者（パート）の新規雇用 （求人情報誌掲載・農業バイト専用サイト「アグポン」活用）	2022年 3名（目標） 2023年 3名（目標）	
(2)女性農業者（正社員）の新規雇用 （職業安定所、農業大学校への求人募集）	2023年 1名（目標）	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（2）女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
■実施中の取組		
(1)女性農業者の意見交換会の実施 （6次産業化の商品開発企画、新規栽培品種の選定等について）	年4回実施	

(2)勉強会の実施 (JGAP の認証取得や薬剤、肥料の取扱い等について)	年 2 回実施	
■今後の取組		
(1)女性農業者の意見交換会の継続	年 4 回実施 (目標)	
(2)勉強会の継続	年 2 回実施 (目標)	
(3)女性が活躍している先進農業法人の視察	年 1 回実施 (目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
■実施済の取組		
(1)規格外のアスパラガスを用いた商品開発	(1)2021 年 9 月末にオリジナルドレッシングを開発。	
(2)女性農業者や取扱い商品等のアピールをするための SNS 発信やホームページの開設	(2)2021 年 12 月にインスタグラムと自社ホームページ開設。	
■今後の取組		
(1)ワークライフバランスの実践	(1)女性が仕事と家庭(子育て・介護等)を無理なく両立できる体制づくりの為、年 2 回ぐらいを目標に意見交換会を実施(目標)	
(2)アスパラガスを使ったレシピの考案	(2)随時、女性農業者からレシピを集い、実際に調理をしてホームページや SNS で発信していく。 年 2 件(目標)	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2022年8月	<p>（補助内容）</p> <p>女性専用仮設式トイレ2基の設置 農場事務所内に女性専用の水洗トイレ設置 休憩室（ロッカー、テーブル、椅子含む）の整備 着替えが出来るようなスペース確保（パーテーション）</p> <p>（対象者）</p> <p>当社に在籍する女性23名（役員1名、社員2名、保険付きパート1名、パート19名）</p> <p>（実施方法）</p> <p>圃場のどこにトイレがあったら便利なのか、また休憩室の間取りや更衣スペースの場所等の意見交換を本事業責任者の専務取締役を中心に代表取締役（女性）、女性社員2名、女性パート3名の合計7名の環境改善チームでおこない、一番使いやすく環境改善につながるよう実施していきます。 メンバー以外の女性従業員からもアンケート等を取り、意見を反映させられるようにしていきます。</p>	

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の（1）の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	
②	
③	

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	
②	
③	

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	
②	
③	

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①				
①				
②				
③				

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	7人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者 1人、アルバイト・ボランティア等 6人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。